



防火部材

タイカブラック クイック2

品番

MTKB-40P2

セット内容

- ・クイック2本体 × 1 個
- ・充填材(パテエース) × 1 個
- ・認定シール × 1 枚

認定シール: 認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

ボイド開口径: $\phi 40\text{mm}$ *

コアドリル(ホルソー)開口径: $\phi 40\text{mm}$

※当社ボイド管(品番: MTKS-39BK)がご使用いただけます。

⚠ 警告

●「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能評定書」の仕様にに基づき、正しく施工して下さい。
 ●ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定して下さい。※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

⚠ 注意

●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
 ・本体・充填材が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄して下さい。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
 ・本体・充填材が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
 ・本体・充填材を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
 ・作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行って下さい。
 ・作業場では火気を使用しないで下さい。
 ・作業後は必ず手洗い、うがいを行って下さい。(特に喫煙、飲食前には必ず行って下さい。)

施工・保管の注意

●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認下さい。
 ●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管して下さい。
 ●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けて下さい。また、可燃物付近に保管しないで下さい。

お願い

●消防評定マーク請求書は弊社総合カタログに記載のものをコピーしてご使用下さい。
 ※弊社ホームページからもダウンロードが可能です。
 ●工法の詳細が記載してある技術資料等を別途ご用意しております。
 ※弊社営業企画課または最寄の営業所にお問い合わせ下さい。
 ※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。

資料ご請求先: 営業企画課

〒503-0295 大垣市外・輪之内町

TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282

ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html>

適合配管等(参考)	ケーブル(参考)	CV 3×22mm ² 以下、CVT 22mm ² 以下
	電線管	PF14 以下、CD16 以下、VE16 以下
	さや管(ガス用CD管)	—
	被覆付管(被覆5mm)	—
	被覆付管(被覆10mm)	—
	ガードフレキ	10A 以下
	硬質塩化ビニル管	VP13 以下

<ご注意>●共住区画には使用できない配管がありますので詳細は評定書をご確認下さい。
 ●ケーブル(参考)は直に貫通できる最大ケーブルの目安です。
 ●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従って下さい。

施工要領

○準備 ●開口部に配管、ケーブル等を施工します。

①挿入

壁
 クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。
 ※事前に、本体の中に充填材(パテエース)を多少充填しておくと、②の充填作業を簡単に行うことができます。

床
 クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。

②充填

壁
 充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。

床
 充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。

●開口部が壁際、床の隅角にある場合に、本体ツバの一部を切り取って使用することも可能です。



切り取り可能



防火部材

タイカブラック クイック2

品番

MTKB-50P2

セット内容

- ・クイック2本体 × 1 個
- ・充填材(パテエース) × 1 個
- ・認定シール × 1 枚

認定シール: 認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

ボイド開口径: #50 $\phi 56\text{mm}$

コアドリル(ホルソー)開口径: $\phi 55\text{mm}$

⚠ 警告

●「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能評定書」の仕様にに基づき、正しく施工して下さい。
 ●ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定して下さい。※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

⚠ 注意

●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
 ・本体・充填材が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄して下さい。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
 ・本体・充填材が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
 ・本体・充填材を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
 ・作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行って下さい。
 ・作業場では火気を使用しないで下さい。
 ・作業後は必ず手洗い、うがいを行って下さい。(特に喫煙、飲食前には必ず行って下さい。)

施工・保管の注意

●ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認下さい。
 ●架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管して下さい。
 ●冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けて下さい。また、可燃物付近に保管しないで下さい。

お願い

●消防評定マーク請求書は弊社総合カタログに記載のものをコピーしてご使用下さい。
 ※弊社ホームページからもダウンロードが可能です。
 ●工法の詳細が記載してある技術資料等を別途ご用意しております。
 ※弊社営業企画課または最寄の営業所にお問い合わせ下さい。
 ※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。

資料ご請求先: 営業企画課

〒503-0295 大垣市外・輪之内町

TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282

ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html>

適合配管等(参考)	ケーブル(参考)	CV 3×60mm ² 以下、CVT 60mm ² 以下
	電線管	PF22 以下、CD22以下、VE22 以下、FEP20 以下
	さや管(ガス用CD管)	22 以下
	被覆付管(被覆5mm)	16H 以下
	被覆付管(被覆10mm)	—
	ガードフレキ	13A 以下
	硬質塩化ビニル管	VP16 以下

<ご注意>●共住区画には使用できない配管がありますので詳細は評定書をご確認下さい。
 ●ケーブル(参考)は直に貫通できる最大ケーブルの目安です。
 ●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従って下さい。

施工要領

○準備 ●開口部に配管、ケーブル等を施工します。

①挿入

壁
 クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。
 ※事前に、本体の中に充填材(パテエース)を多少充填しておくと、②の充填作業を簡単に行うことができます。

床
 クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。

②充填

壁
 充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。

床
 充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。

●開口部が壁際、床の隅角にある場合に、本体ツバの一部を切り取って使用することも可能です。



切り取り可能



防火部材

タイカブラック

品番

クイック2

MTKB-75P2

セット内容

- ・クイック2本体 × 1 個
- ・充填材(パテエース) × 1 個
- ・認定シール × 1 枚

認定シール：認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

ボイド開口径：#75 φ81mm コアドリル(ホルソー)開口径：φ80mm

警告

- 「国土交通大臣認定書」及び「(一財)日本消防設備安全センター性能評定書」の仕様に基つき、正しく施工して下さい。
- ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないよう固定して下さい。※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。

注意

- 以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本体・充填材が皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄して下さい。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
- 本体・充填材が目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
- 本体・充填材を誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。
- 作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行って下さい。
- 作業場では火気を使用しないで下さい。
- 作業後は必ず手洗い、うがいを行って下さい。(特に喫煙、飲食前には必ず行って下さい。)

施工・保管の注意

- ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認下さい。
- 架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直接配管はできません。さや管、被覆付等で配管して下さい。
- 冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けて下さい。また、可燃物付近に保管しないで下さい。

お願い

- 消防評定マーク請求書は弊社総合カタログに記載のものをコピーしてご使用下さい。
※弊社ホームページからもダウンロードが可能です。
- 工法の詳細が記載してある技術資料等を別途ご用意しております。
※弊社営業企画課または最寄の営業所にお問い合わせ下さい。
※弊社ホームページからもご覧いただくことが可能です。

資料ご請求先：営業企画課

〒503-0295 大垣市外・輪之内町

TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282

ホームページ：http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html

適合配管等(参考)	ケーブル(参考)	CV 3×100mm ² 以下、CVT 150mm ² 以下
	電線管	PF36 以下、CD36以下、VE36 以下、FEP30 以下
	さや管(ガス用CD管)	36 以下、だ円10 以下
	被覆付管(被覆5mm)	20H 以下
	被覆付管(被覆10mm)	20H 以下
	ガードフレキ	20H 以下
	硬質塩化ビニル管	VP30 以下

<ご注意>●共住区画には使用できない配管がありますので詳細は評定書をご確認下さい。
 ●ケーブル(参考)は直に貫通できる最大ケーブルの目安です。
 ●電線管内に収める電線・ケーブルの量は消防評定または、内線規定に従って下さい。

施工要領

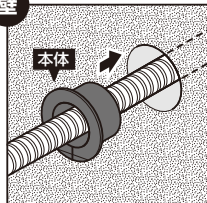
○準備

●開口部に配管、ケーブル等を施工します。

①挿入

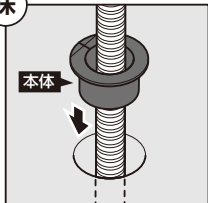
壁

クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。



床

クイック2本体を配管、ケーブル等にはめ込み、開口部に挿入します。

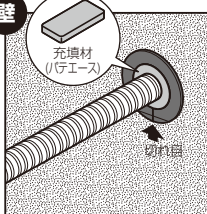


※事前に、本体の中に充填材(パテエース)を多少充填しておく、②の充填作業を簡単に行うことができます。

②充填

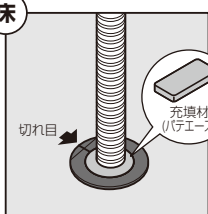
壁

充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。



床

充填材(パテエース)をクイック2本体と配管、ケーブル等のすき間に充填します。
 ※本体の切れ目にすき間ができる場合は切れ目にも充填材を充填して下さい。



●開口部が壁際、床の隅角にある場合に、本体ツバの一部を切り取って使用することも可能です。



切り取り可能

